別紙様式4（1）

令和4年7月31日
（前回公表日 令和3年7月31日）

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
八千代リハビリテーション学院	平成16年3月30日	片山　薫	〒276-0031 千葉県八千代市八千代台北11丁目1番30号 （電話）047-481-7320
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人巨樹の会	平成2年3月20日	藤井　茂	〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘2丁目1番12号 （電話）092-607-0053

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門課程	作業療法学科	平成6年文部科学省告示第84号	

認定年月日	平成30年2月28日 文部科学省告示　第28号
学科の目的	人間愛に基づき対象者の共感的理解および受容をし専門的な知識・技術・価値を習得していくことで、包括的医療の一翼を担うリハビリテーションの専門職となる人材を育成することを目的とする。

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3150時間	1560時間	600時間	990時間	0時間	0時間
							単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内数）	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120人	123人	0人	8人	20人の内数	47人の内数

学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 ・講義、実習に必要な時間の出席状況と当該科目の評価により行う。 ・授業科目の評価はA・B・C・Dの4段階とし、C以上を合格とする。
長期休み	■夏　期：8月1日～8月30日 ■冬　期：12月25日～1月10日 ■春　期：3月22日～3月31日	卒業・進級条件	・履修すべき全科目の単位を取得したものについては、学院長が進級及び卒業を認定する。
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 成績不良者への学習支援を実施。欠席の多い学生に対し、担任より電話連絡し、状況確認を行い、状況に応じて保護者との三者面談を実施。	課外活動	■課外活動の種類 課外活動については、カンボジア研修旅行、地域交流会等（自治会主催の夏祭り、市主催マラソン大会ボランティア参加等） ■サークル活動：　無

就職等の状況

■主な就職先、業界等（令和3年度卒業生）
病院、医療施設、福祉施設等

■就職指導内容
担任より履歴書の書き方や面接の指導を実施。また、非常勤講師による接遇マナー講座を実施。

■卒業者数	：	39	人
■就職希望者数	：	39	人
■就職者数	：	39	人
■就職率	：	100	%
■卒業者に占める就職者の割合	：	100	%

■その他

令和3年度卒業者に関する
令和4年5月1日 時点の情報）

主な学修成果（資格・検定等）

■国家資格・検定/その他・民間検定等
（令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報）

資格・検定名	種別	受験者数	合格者数
作業療法士国家資格	②	39人	39人

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。
①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの
②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの
③その他（民間検定等）

■自由記述欄

中途退学の現状

■中途退学者　4　名　■中退率　3.3 %
令和3年4月 1日時点において、在学者　122名（令和3年4月 1日入学者を含む）
令和4年3月31日時点において、在学者　118名（令和4年3月31日卒業者を含む）

■中途退学の主な理由
（例）学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等

進路変更、心身不調、成績不振

■中退防止・中退者支援のための取組
（例）カウンセリング・再入学・転科の実施等

担任による面談等によるフォロー、学校行事を通してリフレッシュを図る

経済的支援制度

■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　無
※有の場合、制度内容を記入

■専門実践教育訓練給付：　給付対象
※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載

第三者による学校評価

■民間の評価機関等から第三者評価：　有
※有の場合、例えば以下について任意記載
（評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）
一般社団法人リハビリテーション教育評価機構　2022年4月1日～2027年3月31日認定（2021年度受審して更新認定済）

当該学科のホームページURL

http://www.yachiyo-reha.jp/

職業実践専門課程 情報公開 別紙様式4（2）

八千代リハビリテーション学院 作業療法学科　　令和4年7月31日

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

理学療法士・作業療法士の教育課程では、学外のリハビリテーション実施医療機関等で臨床実習が行われる。企業等との連携が多く求められるのが臨床実習であり、教育課程編成委員会では、企業委員は臨床実習病院の役職員、専門職団体からの委員、有識者委員を選任し、実務に関する知見、専門職人材の育成、専攻分野の動向などをふまえて、臨床実習を含む教育課程に関する意見を参考に検討を行う。なかでも、産学連携協定を結ぶ実習病院との連携のもと、初年次より段階的に教育機会を設けて、知識技術のみならず倫理・態度の育成に力を入れ、早期より医療人としての資質を高めていく教育のために連携することを基本方針とする。また、企業における最新の技術・知識、必要とされる人材像等の意見を反映し授業内容等の工夫を行い、職業実践により社会貢献できる人材育成につながる教育課程の編成を目指す。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

学校法人巨樹の会では各校に教育課程編成委員会を置き、学科編成や地域状況を踏まえて委員会を開催している。学外の委員に加えて、専攻分野各学科の責任者が委員となり、委員会の意見等は学内の運営会議を経て教育課程の編成に反映させる。今後は、コアとなる教育課程の確認はもとより、PDCAサイクルに則り、専攻分野の職業実践につながる教育課程編成の検討、工夫に反映させていく。また、法人各校との情報交換や連携を進める。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年5月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
薄　直宏	一般社団法人　千葉県理学療法士会　理事	令和 4年4月1日～令和 6年3月31日	①
山田　友紘	一般社団法人　巨樹の会　八千代リハビリテーション病院　理学療法士	令和 4年4月1日～令和 6年3月31日	③
稲葉　真己	一般社団法人　巨樹の会　江東リハビリテーション病院　理学療法士	令和 4年4月1日～令和 6年3月31日	③
小竹　貴	株式会社　シダー　関東本部長	令和 4年4月1日～令和 6年3月31日	①
保科　憲幸	一般社団法人　巨樹の会　千葉みなとリハビリテーション病院　理学療法士	令和 4年4月1日～令和 6年3月31日	③
藍場　祐輔	一般社団法人　巨樹の会　松戸リハビリテーション病院　理学療法士	令和 4年4月1日～令和 6年3月31日	③
松尾　真輔	一般社団法人　千葉県作業療法士会　理事	令和 4年4月1日～令和 6年3月31日	①
鈴木　竜治	一般社団法人　巨樹の会　原宿リハビリテーション病院　作業療法士	令和 4年4月1日～令和 6年3月31日	③
奥川　達也	一般社団法人　巨樹の会　八千代リハビリテーション病院　作業療法士	令和 4年4月1日～令和 6年3月31日	③
片山　薫	八千代リハビリテーション学院　学校長	令和 4年4月1日～令和 6年3月31日	学内委員
豊島　宇茂	八千代リハビリテーション学院　副学校長	令和 4年4月1日～令和 6年3月31日	学内委員
野見山通済	八千代リハビリテーション学院　副学校長代行	令和 4年4月1日～令和 6年3月31日	学内委員
高野　陽子	八千代リハビリテーション学院　事務部長代行	令和 4年4月1日～令和 6年3月31日	学内委員
吉廣　伸隆	八千代リハビリテーション学院　理学療法学科　教務部長代行	令和 4年4月1日～令和 6年3月31日	学内委員
仲村　匡平	八千代リハビリテーション学院　理学療法学科　教務主任	令和 4年4月1日～令和 6年3月31日	学内委員
音琴　慎一	八千代リハビリテーション学院　作業療法学科　教務部長	令和 4年4月1日～令和 6年3月31日	学内委員
金平智恵美	八千代リハビリテーション学院　作業療法学科　教務副主任	令和 4年4月1日～令和 6年3月31日	学内委員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間 2回開催、令和4年度は第1回-9月、第2回-3月に開催。

令和3年度開催日時　第１回　令和3年9月2日（木）　15:30～17:30　　第2回　令和 4年3月2日（水）15:30～17:30

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

臨地での実習、職業実践教育を通して、コミュニケーション能力や医療人としての資質の重要性を検討し、実習指導場面からのフィードバックや意見を参考に、学内での情意領域、技術領域にわたる教育や実習中のストレス対策などを検討していく。 また、「対人関係演習Ⅰ・Ⅱ」の授業により、職業実践場面での演習やチーム医療を学ぶ機会を増やし、グループ病院臨床実習指導者との会議、客観的臨床能力試験（OSCE）への実施、実習施設から得られた意見などを検討して、実習にとどまることなく教育課程全般へ反映させ、基礎分野および専門分野の科目、演習、実習と関連する科目の結びつきがある教育課程編成を図る。なお、新型コロナウイルスの件では感染症防止に関する教育の重要性が挙げられ、臨床での予防、対処などの内容を実習前の学習に明確に位置付ける。

（別途、以下の資料を提出）

＊教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程　＊教育課程編成委員会等の規則　＊教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由（推薦学科の専攻分野との関係等）※別紙様式3－1

＊学校又は法人の組織図　＊教育課程編成委員会等の開催記録

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学校法人巨樹の会のリハ養成校専門学校は、医療・福祉業界と連携して臨床実践の場での演習や実習を積極的に進めて、求められる人材を育成、輩出してきた。なかでも、産学連携協定を結ぶグループ病院の協力のもと、初年次より段階的に臨床実習の機会を設けて、知識技術のみならず倫理・態度の育成に力を入れ、早期より医療人としての資質を高めていくことを基本方針としている。また、授業内容については、臨床の最先端の技術知識について意見交換し適宜改変を行い、臨床実習指導者を対象にした講習会や会議も開催して、教育課程編成を検討する上での参考としている。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

臨床実習は病院とのインターンシップを促進する連携および協力のもと、教育課程編成委員会意見の反映、臨床実習指導者会議の開催をはじめ、診療参加型実習の実践に向けた連携や連絡調整を行い実施する。なお、専任教員は定期的に実習病院を訪問して実習指導者との連携を図り、学生へは教育的サポートを行い、実習成績は病院の指導者による成績表をふまえ、提出物なども含め学院にて総合的な成績評価を行う。その他、実習・演習科目についての授業内容、学習の要点、成績評価等はシラバスにて確認、共有して連携を図る。なお、学内演習で対象者の理解、医療人としてのルールマナーを学び、最終学年次の臨床実習では、最前線の医療現場を経験し、職業実践に必要な知識技術及び自己研鑽できる姿勢の修得を目指す。また、コロナウイルス感染症対策下では、感染防止から実習受け入れの調整まで、密に連携して可能な限り臨地での実習を行えるように工夫している。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
対人関係 演習Ⅰ	医療専門職に対する社会的要請を学び、医療人としての守るべき倫理を理解する。また、人間関係の在り方を学ぶとともに他者理解のためのコミュニケーション技法を理解する。	株式会社ホスピタリティリソーセスジャパン 講師　石渡みどり
対人関係 演習Ⅱ	人間関係における他者理解のためのコミュニケーション技法を経験し、自己課題を認識する。	株式会社シダー　計15施設
生活機能 演習	施設において対象者及び職員への情報収集を行い、対象者の生活場面の観察を行い、トップダウン評価及び治療を学習する。	医療機関、介護保険施設等、計65施設
地域作業療法 学演習	地域リハビリテーションにおける社会制度や作業療法士の役割について説明できるとともに地域リハビリテーションに関わる他職種のサービスについてその概略を説明できる。	株式会社シダー　関東地区本部
臨床実習 Ⅰ～Ⅳ	各疾患の評価及び治療プログラム立案及び治療までの一連の流れを経験し、作業療法士の思考過程を学習する。	八千代リハビリテーション病院、千葉みなとリハビリテーション病院、松戸リハビリテーション病院、原宿リハビリテーション病院、五反田リハビリテーション病院など、計18病院

（別途、以下の資料を提出）

＊　企業等との連携に関する協定書等や講師契約書（本人の同意書及び企業等の承諾書）等

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

専攻分野の実務研修、学生への教授力や指導力向上に関わる研修に、参加や研究発表などによる積極的な取り組みを奨励して、医療専門職として社会貢献できる人材育成に役立てることを目指す。臨床実習病院との連携による専任教員の臨床研修、学術大会をはじめ、理学療法士・作業療法士の職能団体等が実施する研修も活用して、専攻分野の実務に関する研修の機会とする。また、指導力修得・向上を図るために、専攻分野における教員養成講習の受講を原則とし、教育機関団体等が実施する研修への参加、外部教育機関や職能団体から講師を招いて行う教育研修も行う。感染症防止により研修の中止やweb開催への変更で研修機会が減少する中では、可能な限り研修機会の確保を図っていく。

（2）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

1）臨床研修

臨床との乖離を防ぎ、最新の知識、技術、知見を備えて養成教育にあたるため、専任教員の臨床研修を企業連携科目の臨床実習の受け入れ病院で、約6ヵ月の期間、概ね2週に1回の頻度で行っている。令和3年度はコロナ感染防止のために一部の病院では休止期間やオンラインでの研修を行った。

ⅰ）令和3年4月12日(月)～5月7日(金)　ⅱ）令和3年5月24日(月)～7月16日(金)　ⅲ）令和3年8月2日(月)～9月24日(金)に、作業療法学科専任教員のうち8名が研修を実施。

連携する企業：八千代リハビリテーション病院、松戸リハビリテーション病院、千葉みなとリハビリテーション病院、原宿リハビリテーション病院、新久喜総合病院、東京品川病院
蒲田リハビリテーション病院、五反田リハビリテーション病院、赤羽リハビリテーション病院、小金井リハビリテーション病院、江東リハビリテーション病院、新上三川病院
みどり野リハビリテーション病院、所沢明生病院、明生リハビリテーション病院、狭山中央病院、宇都宮リハビリテーション病院、第2宇都宮リハビリテーション病院

2）連携企業グループ学術大会

年2回開催予定の連携企業（臨床実習病院）グループ合同学術大会だが、令和3年度はコロナ感染拡大防止の中で不参加。企業連携科目は臨床実習。

3）職能団体等実施の学会、研修会への参加

リハビリテーション職種の団体、専任教員が所属する学会などの学術大会や研修会に参加。専攻分野の知見を高め、授業内容の充実を図る。

第55回日本作業療法学会　2021年9/10(金)-11(土)　内容：作業療法の文化と融合　主催：日本作業療法士協会　会場：オンライン開催　参加 1名

臨床実習指導者講習会　内容：臨床実習指導　主催：日本作業療法士協会・千葉県作業療法士会　会場：オンライン開催　各日程に1名、合計 参加3名

日程 ①2021年9/25(土)-26(日)　②11/6(土)-7(日)　③2022年3/26(土)-27(日)

千葉県作業療法士会老年期障害研修会 2021年10/31(日) 内容：老年期障害について　主催：千葉県作業療法士会　会場：オンライン開催　参加 1名

第23回千葉県作業療法士学会　2022年3/6(日)-13(日)　内容：明日につなぐ作業療法　主催：千葉県作業療法士会　会場：オンライン開催　参加 3名

②指導力の修得・向上のための研修等

学校法人 キャリア教育研修 2021年 8/23(月) 内容：学生との関り(発達障害傾向の対処)　主催：学校法人巨樹の会　会場：オンライン（武雄看護リハ学校）参加 9名

学校法人 中央教育研修　2021年 8/25(水) 内容：これからの授業方法の工夫について　主催：学校法人巨樹の会　会場：オンライン（小倉リハ学院）　参加 9名

日本作業療法教育学術大会 2021年11/27(土) 内容：卒後教育の新時代　主催：日本作業療法教育学会　会場：オンライン開催　参加 1名

学校法人 ICT教育研修　2022年 3/7（月） 内容：ICT教育のこれからと活用指導法について 主催：学校法人巨樹の会　会場：オンライン　参加 8名

学校法人 中央教育研修 2022年 3/11(金) 内容：学生評価に関して　主催：学校法人巨樹の会　会場：オンライン（福岡和白リハ学院）参加 8名

（3）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

1）臨床研修. . . 企業連携科目の臨床実習の受け入れ病院にて、およそ2週に1回の頻度で、令和4年4月～9月の約6か月間、専任教員の臨床研修を実施する。

2）連携企業グループ学術大会. . . 令和4年度の前期と後期、年2回の開催予定の学術研修会に専任教員が参画、出席する。

3）職能団体等実施の学会、研修会への参加. . . 専攻分野、担当授業科目等に応じ、職能団体の学会、研修・講習等の受講をオンラインを含めて進める。

②指導力の修得・向上のための研修等

1）理学療法士・作業療法士専任教員養成講習会、もしくは理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会の受講. . . 2名の受講を予定。

2）全国リハビリテーション学校協会　第35回教育研究大会・教員研修会（10/29-30）. . . 作業療法の各専攻分野に専任教員が参加予定。

3）外部団体が開催する教育研修等の受講. . . 専任教員が受講を希望する研修に参加。

4）学校法人巨樹の会リハビリ専任教員研修、その他の教育研修（理学療法学科・作業療法学科共同開催）

・学校法人 管理者研修　2022年5月予定　内容：風通しの良い職場環境つくり　主催：法人リハ学校部門　会場：小倉リハ学院　参加予定 3名

・学校法人 ICT教育研修　2022年8月予定　内容：オンライン授業、クラスルーム機能活用　主催：法人ICT委員会　会場：オンライン　参加予定 8名

・学校法人 カリキュラム研修　2022年8月予定　内容：協同学習について　主催：法人カリキュラム委員会　会場：オンライン　参加予定 8名

・学校法人 キャリア教育研修　2022年8月予定　内容：学生との関りについて（事例考察）　主催：法人キャリア教育委員会　会場：オンライン　参加予定 8名

（別途、以下の資料を提出）

＊ 研修等に係る諸規程
＊ 研修等の実績（推薦年度の前年度における実績）
＊ 研修等の計画（推薦年度における計画）

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価を通じ、教育活動及び学校運営を点検し、継続的に改善することで、社会の変化に対応できる学校組織を目指すとともに、情報公開により学校の透明性向上を図る。また、自己評価・学校関係者評価を行うことで、全教職員が学校の状況及び目標・方向性を共有し、教育活動及び学校運営の改善を円滑に推進する。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	①教育理念・目的・人材育成像の明確化　②学生・保護者・学校関係者への周知　③医療・福祉のニーズとの整合性
（2）学校運営	①事業計画の策定　②運営組織・意思疎通機能の明確化　③情報システム化による業務の効率化
（3）教育活動	①教育理念に沿った教育課程編成・実施方針の策定　②実践教育の視点に立ったカリキュラム教授内容の工夫 ③医療・福祉実践教育の体系化　④授業評価実施体制　⑤教育力向上のための研修の実施
（4）学修成果	①就職率向上への努力　②退学率・留年率低減の努力　③国家試験合格率への努力 ④卒業生の状況を教育活動に反映
（5）学生支援	①学生相談及就職相談に関する体制整備　②学生生活指導及び安全管理に関する体制整備 ③高校や保護者と連携した指導の取組
（6）教育環境	①教材及び教育環境改善の取組　②臨床実習における環境改善の取組　③防災に関する体制整備
（7）学生の受入れ募集	①高等学校等への適切な情報提供　②資格取得・就職状況等の適切な情報提供
（8）財務	①中長期的な学校の財務基盤の安定　②予算・収支計画の妥当性　③会計監査の適切な実施
（9）法令等の遵守	①法令・設置基準等の順守と適正な運営　②個人情報保護対策
（10）社会貢献・地域貢献	①学校施設を活用した社会貢献・地域貢献　②学生ボランティア活動
（11）国際交流	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況

2021年度の実績より、理学療法士・作業療法士養成指定規則改訂に応じた新たなカリキュラムによる教育推進について確認。学内WiFi環境の整備とIpadを活用した授業の実践などICT教育の推進、授業評価や教育力向上の取組み、感染症対策や防災体制の整備などに関する学校関係者評価ならびに検討結果を活用し、2022年度重点目標・計画を作成して、質の高い教育を提供できる体制整備を行い、2023年度の入学定員増員の準備を進める。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年5月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
斎藤　剛史	医療法人徳洲会　成田富里徳洲会病院	令和4年4月1日　～　令和6年3月31日	企業等評価委員
田中　朋美	一般社団法人巨樹の会　千葉みなとリハビリテーション病院	令和4年4月1日　～　令和6年3月31日	企業等評価委員
小林　誠	医療法人静和会　浅井病院	令和4年4月1日　～　令和6年3月31日	卒業生評価委員
市角　雄幸	習志野市市議会議員	令和4年4月1日　～　令和6年3月31日	地域評価委員
菊島　翔	千葉県立八千代東高等学校	令和4年4月1日　～　令和6年3月31日	高等学校評価委員
奥田　裕	帝京科学大学　東京理学療法学科	令和4年4月1日　～　令和6年3月31日	有識者評価委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。（例）企業等委員、PTA、卒業生、校長等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
ホームページ　7月
URL:http://www.yachiyo-reha.jp/

（別途、以下の資料を提出）
＊　学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書（推薦学科の専攻分野との関係等）※別紙様式3－2
＊　自己評価結果公開資料　＊　学校関係者評価結果公開資料（自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書）

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドライン」に基づいて、企業等関係者の理解、学校教育の質の保証・向上を図るために、ホームページにて学校の基本的情報、学則、シラバス、実績ほか、情報公開を行う。学校関係者評価に際しては自己評価結果ほか、学生便覧、学校パンフレット等の広報資料、カリキュラム等教育関連資料、教育実績等を提供し、自己評価報告書および学校関係者評価報告書にて公開する。また、連携企業や関連団体に対してホームページその他の媒体でも情報公開を行い、学校関係者への積極的な情報提供、説明のもと、学校運営の透明性を図る。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	①校長名　②所在地　③連絡先　④学校の沿革　⑤学校の特色（教育活動・カリキュラム等）　⑥教育目標 ⑦運営方針　⑧教育指導計画　⑨学校行事計画
（2）各学科等の教育	①入学者選考の方針及び方法　②定員数　③教育課程　④進級及び卒業要件　⑤資格取得 ⑥卒業者数及び卒後の進路状況
（3）教職員	①教職員数　②教職員の組織及び専門性
（4）キャリア・実践職業教育	①キャリア教育への取組状況　②企業等との授業等の取組状況　③就職支援の取組状況
（5）様々な教育活動・教育環境	①学校行事への取組状況　②課外活動等の状況
（6）学生の生活支援	①生活支援の取組状況
（7）学生納付金・修学支援	①学生募集及び納付金の取り扱い　②就学支援の内容
（8）学校の財務	①資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表
（9）学校評価	①自己点検及び自己評価報告書　②学校関係者評価による改善方策
（10）国際連携の状況	
（11）その他	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法
URL:http://www.yachiyo-reha.jp/

（別途、以下の資料を提出）
＊　情報提供している資料

事務担当責任者	フリガナ	タカノ ヨウコ	所属部署	事務部
	氏名	高野　陽子	役職名	事務長代行
	所在地	〒276-0031 千葉県八千代市八千代台北11丁目1番30号		
	TEL	047-481-7320	FAX	047-481-7321
	E-mail	yokotaka@yachiyo-reha.jp		

職業実践専門課程 情報公開 別紙様式4(3)

授業科目等の概要

（医療専門課程作業療法学科）令和４年度　　八千代リハビリテーション学院

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			心理学	対人援助に必要な人の行動科学の基本原則を学び、対象者理解の基礎を養う。リハビリテーションに関わる学習理論を理解する。	1年前期	30	2	○			○			○	
○			統計学	基礎的統計処理を学習し、理学療法・作業療法に必要な臨床研究の基礎を身につける。	2年後期	30	2	○			○			○	
○			情報処理	PCの基本的操作、文章作成、表計算やプレゼンテーション、研究やレポート作成に必要なデータ処理、統計分析手法を学習する。	2年後期	30	2	○			○			○	
○			物理学	人体の運動と物理法則の関係を理解し、リハビリテーションの臨床場面における科学的思考の基礎を養う。	1年前期	30	2	○			○			○	
○			基礎教養	文章を書く上で基本となる語彙と文法、文章構成を理解する。また、説得力のある論理的な文章表現力を身につける。	1年前期	30	2	○			○			○	
○			対人関係演習Ⅰ	医療専門職への社会的要請、医療人として倫理を理解する。人間関係、他者理解のためのコミュニケーション技法を理解する。	1年前期	30	2		○		○			○	○
○			対人関係演習Ⅱ	人間関係における他者理解のためのコミュニケーション技法を経験し、自己課題を認識する。	1年後期	30	2		○	△	○	○	○	○	○
○			解剖学Ⅰ	正常な人体の動物機能にかかわる骨・筋及び神経系の形態と構造を理解する。	1年前期	30	2	○			○			○	
○			解剖学Ⅱ	正常な人体の動物的機能、神経系の形態及び構造、植物系機能並びに意識的感覚や精神機能にかかわる形態・構造を理解する。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			生理学Ⅰ	生理学の基礎である細胞生理を理解したうえで、人の生理学的（植物）機能を理解する。	1年前期	30	2	○			○			○	
○			生理学Ⅱ	人の動物性機能を理解する。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			運動学Ⅰ	身体の構造と姿勢保持・運動との関係を理解する。上肢の骨・関節・靭帯・筋、脊柱・胸郭の構造と運動との関わりを理解する。	1年前期	60	4	○			○		○		
○			運動学Ⅱ	下肢の骨・関節・靭帯・筋、脊柱・胸郭の構造と運動との関わりを理解する。姿勢保持機構と正常歩行について理解する。	1年後期	30	2	○			○		○		
○			運動学演習Ⅰ	人体・上肢体の関節構造と運動の力源である筋肉について、知識を深めて人体の動きを3次元で考えられる基礎を養う。	1年前期	30	2		○		○		○		

○			運動学演習Ⅱ	人体・下肢体の関節構造と運動の力源である筋肉について、知識を深めて人体の動きを3次元で考えられる基礎を養う。	1年後期	30	2		○		○		○		
○			人間発達学	人間の身体、運動、認知、心理、社会性など各領域の正常な発達過程を理解するとともに各段階の発達課題を理解する。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			リハビリテーション基礎医学Ⅰ	運動に必要な栄養学等の諸要素、加齢や不活動の影響、生活習慣病等を学習し、運動の必要性、評価、リスク管理等を理解する。	1年前期	30	2	○			○		○		
○			リハビリテーション基礎医学Ⅱ	対象者を理解し、他職種と連携してリハビリテーションを行う上で求められる、画像診断や薬物に関する知識、理解を深める。	1年後期	30	2	○			○		○		
○			医学概論	医療倫理、健康と病気の概念、疾病の分類を学び病気の診断と治療の概要を理解する。	1年前期	30	2	○			○		○		
○			病理学概論	病気の概念・原因、老化のメカニズムや細胞障害、炎症、免疫、循環障害などの生体反応のメカニズムを理解する。	2年前期	30	2	○			○			○	
○			整形外科学	整形外科領域のリハビリテーション対象疾患について疫学及び予後、病因と症状・検査及び治療を理解する。	2年前期	30	2	○			○		○		
○			内科学	内科領域におけるリハビリテーション対象疾患の疫学及び予後、病因と症状・検査及び治療を理解する。	2年前期	30	2	○			○			○	
○			神経内科学	神経内科領域におけるリハビリテーション対象疾患の疫学及び予後、病因と症状・検査及び治療を理解する。	2年前期	30	2	○			○			○	
○			臨床心理学	人間行動の基礎理論を学び、正常及び異常心理の評価と行動療法などの心理療法を理解する。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			精神医学	精神疾患の疫学及び予後、病因と症状、検査及び治療を理解する。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			リハビリテーションと作業療法Ⅰ	リハビリテーションの歴史的背景、定義、目的等を理解する。ＩＣＦの構成因子と作業療法および治療過程の関係性を理解する。	1年前期	30	2	○			○		○		
○			リハビリテーションと作業療法Ⅱ	地域ケアシステムにおける作業療法士の役割や関連職種との連携、社会保障制度、救急救命に必要な知識を学ぶ。	1年前期	30	2	○			○		○		
○			基礎作業学Ⅰ	作業療法における作業の意味・特性を理解して作業療法における理論や治療的効果の概要を理解する。	1年前期	30	2	○			○		○		
○			基礎作業学Ⅱ	具体的な作業を通して、作業療法モデルの概念や評価、対象者への治療・指導・援助技術を理解し、適用する方法を学ぶ。	1年後期	60	2	○		△	○		○	○	
○			基礎作業学Ⅲ	作業療法場面で用いられる作業活動と評価、分析や解釈、介入方法を具体的に理解する。治療的に作業を用いる視点を理解する。	2年前期	30	1	○		△	○		○		
○			生活機能演習	医療福祉施設において、リハビリテーション対象者の生活場面にかかわり、専門的視点をもって対象者の生活機能を理解する。	2年後期	30	1		○	△	○	○	○	○	○
○			作業療法管理学	作業療法部門の職場管理において求められる管理業務の基本、臨床教育の基本について理解する。	3年前期	30	2	○			○		○		

○			基礎評価学 演習Ⅰ	作業療法評価を理解し、基本的評価の技術・態度、バイタルサイン、形態計測、関節可動域測定等の基本的技術を身に付ける。	1年前期	60	2		○		○		○		
○			基礎評価学 演習Ⅱ	作業療法評価の検査測定の目的や概要の説明、手順の再現、結果の文書・口頭での説明ができるようになる。	1年後期	60	2		○		○		○		
○			基礎評価学 演習Ⅲ	作業療法評価の各検査法、その理論背景と生体における反応様式について理解し、実際の検査を施行することができる。	2年前期	30	1		○		○		○		
○			基礎評価学 演習Ⅳ	作業療法評価によりモデルケースの全体像を把握、問題点抽出、治療目標やプログラム立案までの作業療法思考過程を経験する。	2年後期	30	1		○		○		○		
○			臨床評価学 演習Ⅰ	検査の実施にあたっての説明、器具や記録の準備・片付け・管理が行え、学修した各検査測定手技を安全に実施できる。	1年前期	30	1		○	△	○		○		
学校法人			臨床評価学 演習Ⅱ	検査の実施にあたっての説明、器具や記録の準備・片付け・管理が行え、学修した各検査測定手技を安全に実施できる。	1年後期	30	1		○	△	○		○		
○			日常生活活動学 演習Ⅰ	日常生活動作の概念・範囲・意義を理解し、動作の特徴を運動学的・解剖学的にも理解する。IADLを体験、分析、記録し理解する。	1年後期	30	1		○		○		○		
○			日常生活活動学 演習Ⅱ	日常生活活動評価の意義と代表的な検査の方法、IADL評価を理解する。事例を通してセルフケアとIADLの結びつきを理解する。	2年前期	30	1		○		○		○		
○			義肢学	切断のリハビリテーションの実践を理解する。主に、義手の構造を理解し、義手訓練及び適合判定を身に付ける。	1年後期	30	1	○			○		○		
○			装具学	装具療法の概要を学び、疾患別の装具適応を理解する。装具の採型から作成、適合判定の過程を理解する。	2年前期	30	1	○			○		○		
○			高齢期の 作業療法	高齢期の身体機能構造、精神心理、環境適応に関する変化、障害を引き起こす疾患、症候、診断と治療を学ぶ。	2年後期	30	1	○			○		○		
○			中枢神経疾患の 作業療法学Ⅰ	中枢神経疾患の病態・特徴・関連症状、検査測定などの評価を学び、作業療法治療計画やアプローチ方法など実践過程を理解する。	2年前期	60	2	○		△	○		○		
○			中枢神経疾患の 作業療法学Ⅱ	脊髄損傷の症状、髄節レベルに応じた運動機能及びADL機能について理解し、作業療法評価から治療までの実践過程を理解する。	2年後期	30	1	○		△	○		○		
○			運動器疾患の 作業療法学	整形外科疾患の原因、病理、症状を理解し、作業療法評価及び治療の選択などの実践過程を理解する。	2年後期	60	2	○		△	○		○		
○			小児疾患の 作業療法学	運動発達の障害について原因疾患、障害像および作業療法支援の方法を理解する。	2年前期	30	1	○		△	○		○		
○			内部障害系疾患 の作業療法学Ⅰ	循環器系・代謝系の疾患について理解し、作業療法の評価や基本的介入方法を学び、その実践過程を理解する。	2年前期	30	1	○		△	○		○		
○			内部障害系疾患 の作業療法学Ⅱ	呼吸器系疾患、悪性腫瘍について理解し、作業療法の評価、基本的介入方法を学び、その実践過程を理解する。	2年後期	30	1	○		△	○		○		
○			精神障害の 作業療法学Ⅰ	精神医療の現状や利用できる社会資源を知る。精神疾患の理解とリハビリテーション、作業療法理論および評価の基礎を学ぶ。	2年前期	60	2	○		△	○		○		

○			精神障害の作業療法学Ⅱ	作業療法の対象となる精神疾患の臨床像と精神特性、疾患別作業療法の評価や治療的方法について理解する。	2年後期	60	2	○		△	○		○		
○			高次脳機能障害の作業療法学	高次脳機能障害の神経心理学的評価方法、生活障害の特徴を知り、対象者の全体像を把握して作業療法介入の方法を理解する。	2年後期	30	1	○		△	○		○		
○			作業療法学技術演習Ⅰ	身体障害領域の症例の全体像を把握し、問題点抽出、治療目標やプログラム立案という一連の作業療法思考過程を経験する。	2年前期	60	2		○		○		○		
○			作業療法学技術演習Ⅱ	精神・発達障害領域の症例の全体像を把握、問題点抽出、治療目標やプログラム立案の一連の作業療法思考過程を経験する。	2年後期	60	2		○		○		○		
○			作業療法学総合学習Ⅰ	臨床実習の経験を元に、専門基礎科目・専門科目の知識の統合を図り、国家試験受験資格に値する総合的な力をつける。	3年後期	60	2	○			○		○		
○			作業療法学総合学習Ⅱ	臨床実習の経験を元に、専門基礎科目・専門科目の知識の統合を図り、国家試験受験資格に値する総合的な力をつける。	3年後期	60	2	○			○		○		
○			作業療法学総合学習Ⅲ	臨床実習の経験を元に、専門基礎科目・専門科目の知識の統合を図り、国家試験受験資格に値する総合的な力をつける。	3年後期	60	2	○			○		○		
○			生活環境学	障害者、高齢者の地域生活支援方法、社会制度の活用、福祉用具の適応、住環境の改善等整備が行える知識を身に付ける。	2年後期	30	2	○			○		○		
○			地域作業療法学演習	地域作業療法の理念、目的、概要を学び、在宅生活や就学支援、就労支援等の地域生活への作業療法支援の在り方を理解する。	2年後期	30	2		○	△	○	○	○	○	○
○			臨床実習Ⅰ	チーム医療について学び、病院で働く作業療法士・理学療法士の業務や役割を理解する。	1年後期	45	1			○	○	○	○	○	○
○			臨床実習Ⅱ－１	地域包括ケアシステム、実習施設および作業療法士の役割を理解し、規則に従った自覚ある行動をとり、作業療法業務を経験する。	2年後期	45	1			○	○	○	○	○	○
○			臨床実習Ⅱ－２	精神科医療や認知症関連の施設において、障害特性や生活のしづらさ、精神科作業療法の実際、作業療法士の役割を理解する。	2年後期	90	2			○	○	○	○	○	○
○			臨床実習Ⅲ	チームアプローチ、作業療法の役割と評価を理解して臨床的観察力・分析力を養い、治療計画立案および実践力を身につける。	3年前期	360	8			○	○	○	○	○	○
○			臨床実習Ⅳ	チームアプローチ、作業療法の役割と評価を理解して臨床的観察力・分析力を養い、治療計画立案および実践力を身につける。	3年前期	450	10			○	○	○	○	○	○
合計				64科目		3150単位時間（126単位）									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：すべての授業科目の単位修得を認定された者	１学年の学期区分	2期
履修方法：講義・演習・実習により履修する	１学期の授業期間	17週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。